

2007-2008年度

第2570地区

行田さくらロータリークラブ週報

会幹編 長事集 矢新松 澤井 大啓 和介
 渡橋 岡 園 介
 斉前 本 昭 男
 藤澤 藤 泰 孝
 一
 恒
 忠

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ

「私たちは家族」

ガバナー 石川 嘉彦

会長方針

いつも心にロータリーバッジを

事務局 埼玉県行田市行田5-10
 十万石スリーハートビル3F
 電話 048 (564) 3000番
 例会日時 火曜日12:30~13:30
 例会会場 アドバンテスクラブハウス
 行田市天満 8-1
 電話 048 (555) 2750番

撮影：斉藤恒会員 (武蔵浦水路取水口)
 印刷：マツオカ印刷株式会社



ウィルフリッドJ・
 ウィルキンソン会長

第1618回 (1月15日) 例会報告

- ◆点 鐘 矢澤 大和会長
- ◆ロータリーソング 奉仕の理想
- ◆4つのテスト
- ◆ビジター紹介
- ◆会長報告 矢澤 大和会長
- ◆幹事報告 新井 啓介幹事
- ◆出席状況報告 渡辺 昭孝委員長
- ◆ニコニコボックス 半田 太委員長
- ◆委員会報告 雑誌・広報委員会 古田 稔
- ◆クラブ協議会
- ◆誕生祝 川辺、松本 (尚)、漆原、
島崎、三島、横川 各会員
- ◆結婚祝 漆原、斉藤 各会員
- ◆本日の講話

「平成20年の干支の意味するもの」
 田代 敬二様

きましては、既に皆様ご存知かと思いますが、当クラブ創立時のメンバーでありまして、実は私の父が会長をさせていただいた折、幹事を引き受けていただき、我儂な父の面倒を見ていただいた経緯がございますし、田代様には私個人も沢山の場面で薫陶、訓えをいただいております。感謝申し上げます。豊富な経験と、広い知識に基づいて、今年、平成20年を「田代節」で語っていただけるものと期待しています。

幹事報告

幹事 新井 啓介



1. 本日は、プログラム委員会の担当例会です。田代敬二様にご来訪頂きました。卓話よろしくお願ひ致します。

2. 今後予定について

去る8日理事会が開催されまして、2月のプログラムが決定致しました。すでにFAXにてご案内致しましたが、ご報告させて頂きます。

2月は、『世界理解』月間となっております。

例会は、5日、12日、19日、26日の4回となります。

5日は、地区より世界社会奉仕委員長の金子幸男様ご来訪になります。12日は、CLPについて、地区より栗山昇様に昨年引き続きご来訪頂き卓話をして頂くこととなっております。19日は、『さくらマップ』についての例会です。26日は、ロータリーに関する例会ということで、行田RCの永島健雄様にご来訪頂き『行田RCから見た行田さくらRC』をお話頂きます。

以上2月の例会も会員皆様のご出席をよろしくお願ひ致します。

3. 下半期会費納入のお願ひ

FAXにて既にご連絡しておりますが、下半期のクラブ会費の納入をお願ひ致します。

以上

会長報告

会長 矢澤 大和



例会場での例会は、一ヶ月ぶりでしょうか。とても暫くぶりとの感じが致します。

月も半ばになってしまいましたが、今月は「ロータリー理解推進月間」です。会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーのことを良く知ってもらうためのプログラムを実施する月間となっております。当クラブでは、この月間に因んだ例会とか、特別なプログラムは実施しませんが、皆さん個々に実施してください。特にロータリー暦の浅い方は、ご家族から、その次は職場でロータリーの話をしてください。そのときの話題は、「四つのテスト」などは、話題として具体性もありますので、適当かと思ひます。

この後、古田委員長の話もありますし、何と云っても本日の卓話者には横川プログラム委員長のお骨折りで、田代敬二様をお迎えしています。田代様につ

出席報告

出席委員長 渡辺 昭孝

会員数	出席対象者数	出席	メークアップ	出席率
41名	39名	18名	4名	56.4%

ニコニコ報告

半田委員長

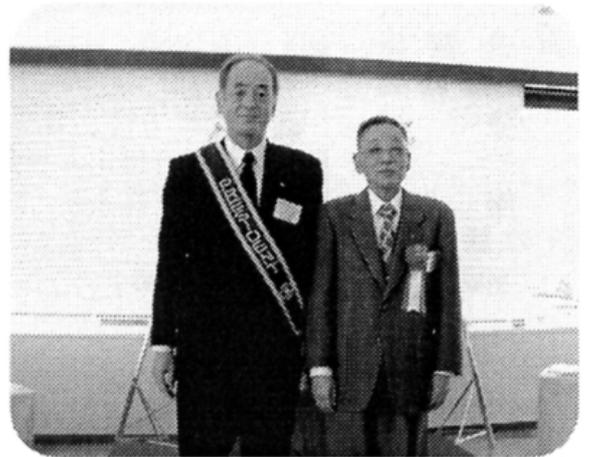
- ・矢澤 大和 田代様、ようこそご来訪下さいました。十二支についての卓話、楽しみにしています。
- ・新井 啓介 田代先輩、田代様、本日はご来訪ありがとうございます。卓話楽しみにしていました。どうぞよろしく願います。
- ・松本 尚 徒に馬齢を重ねて八十一年。去年の今日は病床に在り、今年元気。神と仏とクラブの皆様へ感謝。
- ・小澤 誠邦 田代さんの卓話大変たのしみでしたが、ある団体の新年会へテレビ行田として出席の為本当に残念ですが欠席となってしまいました。
- ・清水 孝男 当クラブ、もと幹事の田代さん…。本日は卓話ご苦労様です。「旧友の干支の卓話や 年はじめ」
- ・松岡 罔男 「子の年の はじめに友の 卓話かな」田代さん、本日は卓話ありがとうございます。
- ・古田 稔 知性と史眼に卓越した見識をもっておられる田代先輩のお話を楽しみにしています。
- ・古田 稔 あけましておめでとうございます。皆様に取りましていいことが沢山ある一年になりますよう、心から祈念。雑誌広報委員会宜しく願います。
- ・松本 健一 田代様の卓話楽しみにしております。又、川辺会員の退院おめでとうございます。仕事酒と気を付けて下さい。
- ・川辺 秀夫 1カ月病欠しました。皆様にご迷惑おかけ致しました。今日から復帰します。よろしく願います。ありがとうございました。
- ・田中 利幸 2月2日(土)の行田とものつくり大学を結ぶコンサートの練習いよいよ熱が入ってまいりました。どうぞ当日はお越し下さいませ！

- ・横川 福治 田代先輩の新春卓話楽しみにしておりました。
- ・田島 博夫 田代さま、ご来訪ありがとうございます。本日所用につき早退です。すみません。
- ・阿部秀二郎 田代様、本日の卓話宜しく願います。

以下同文

斉藤 恒 戸ヶ崎直司 田中 清白
渡辺 昭孝

- ・斉藤 恒 結婚祝、ありがとうございます。
- ・横川 福治 誕生祝、ありがとうございます。
- ・島崎 義春 誕生祝、ありがとうございます。



結婚祝



誕生祝



田代 敬二様

「平成20年の干支の意味するもの」

平成19年の干支に続く年である事に用意

||

「^{ていがい}丁亥」ひのと・い「^{ぼし}戊子」つちのえ・ね

その前年平成18年

「丙 戌」ひのえ・いぬ

「丁」の上の「一」は「丙」の上の「一」の続き
従来の政治路線の続きを表す
つまり小泉路線の継承

安部政権「美しい国づくり」

「丁」の下の「一」はこれに対する新しい

→或は反対の動き

新しい動きが地表にまで出て来て、今にも何かを生み出そうとしているが、これに対する反対の動きがあり、その対抗勢力との衝突・抗争の姿を表している。

「亥」は核と同義語→「一」は中心を指す

→「亥」は男女二人並んで立っている

※何かをはらみ＝「生み出そうとしている」

→ 起爆性を含んで

それは今までに無い爆発的、画期的なもの？

平成20年の干支「戊子」とは

干の「戊」は茂と同義語

樹木が茂る＝「戊子」はともにしげる・ふえるを意味

||

そのままに置くと…風通しが日当たりが悪く樹が衰弱
思い切った剪定の必要

||

無駄を省き簡略にして本来の（生命・姿）を明らかに
支の「子」は 孳・滋と同義語（ふえる、しげる）を意味

前年の「丁亥」の年の情勢が一段と
顕現化、重大化し、いよいよ問題の処理に直面するため、当然これに対応する人物が輩出してくることを意味する。

いろいろな問題が続出すると同時に、これを剪定し、無駄を省き、簡略にしないと国家を危険な状態に陥らせるおそれがある。又これを処理する人物が出るという年でもある。まさに、混乱、抗争の年であると共にこれを收拾、鎮定すべき年でもあるといえる。
※春に予想される総選挙でどのような結果が出るか予測できないが、今年程、国政の主体者である国民自身の見識（自覚・信念）が問われる年は無いでありましょう。

過去の「戊子」の年を振り返る

60年前の昭和23年（戦後4年目）

占領行政が各方面に浸透すると同時に、日本自身が独立国を目指し始めた年。

政府は米・ソ・英・中の四カ国に対し、講和条約の促進を要求し、国家体制の整備に向ったが、情勢は混沌として、前年に出来た片山内閣は2月に総辞職し、新たな芦田内閣も昭電疑獄で10月に退陣、第2次吉田内閣が生まれたという、先の見えない混乱と変動の年であった。

その又60年前は明治21年

未だ各地で一揆やストライキが相つぎ、明治政府が漸く体制の整備に入ったばかりの問題山積の中で、国制の体裁、地方自治体の形、軍の組織、政界の組織などが活発に行われた年。

明治21年、昭和23年共に新しい態勢についての模索推進が始まった年と言えるが平成20年はどのような展開を見せるでありましょうか。

変革の年に遭遇した、歴史の主体者として使命の一端を果たして参りたいと思うものです。